

# Yamato River Journal



vol. 8

February 2021

大和川ジャーナル



特集

地域活性化とともに高田川をきれいに

地域交流 空間エンジェル 代表 岸本 麻美

奈良県平成緊急内水対策事業 ～貯留施設の整備に着手～

広陵町長 山村 吉由

# 内水被害の解消に向けて、 平成緊急内水対策事業は大きな転換点

平成30年5月、内水氾濫の被害解消に向けてスタートした『奈良県平成緊急内水対策事業』。現在、第1号工事が田原本町で進行中です。続いて、事業に基づく施設整備の着工が予定されている広陵町で、これまでの内水対策や事業に寄せる期待などを伺いました。



広陵町 山村吉由町長

## 内水被害が避けられない土地との共存

広陵町は、町内の東を曾我川、葛城川、高田川という3本の川が南北に流れて、町の東半分が川に囲まれた低地になっています。3本の川は町の北部で合流して、大和川に注ぎ込んでいます。大和川の水位が上がって川に排水できない状態になると、どうしても内水被害が出ますので、内水被害の解消をしていかなければなりません。

最近では平成29年の台風21号の豪雨の際に広範な浸水被害が発生しました。我々としては下流にどんどん水を流したいところですが、そうすると下流に大きな被害が出ます。今さかんに言われる流域治水の考え方で、大和川流域みんなで役割を果たしていくことが求められます。広陵町の場合、下流に流せない分、町の中で水を溜めて頑張る持ちこたえられるように、ため池の活用や、雨水貯留浸透施設の整備を進めてきました。農業用のため池の水位を下げて治水利用させていただいたり、あるいは公共施設、中学校のグラウンドの敷地の周囲を高くして一時的に貯水できる仕組みをつくるなど、いろいろな取り組みを行っています。



古寺川流域貯留施設(広陵町中)

計画地面積:約1.0ha 計画貯留量:約30,000m<sup>3</sup>(立方メートル)



## 奈良県平成緊急内水 対策事業(広陵町)



水害を想定した防災訓練で土嚢づくりを実践



広陵町が整備した石塚霊園調整池



平成29年10月台風21号の豪雨による被災状況(広陵町大場)

## 内水対策による意識の高まりと計画の進行

そのような取り組みを行っていた中で、知事が「奈良県平成緊急内水対策事業」を打ち出されましたので、たいへん心強く感じました。用地を取得して、そこに水を溜める貯留施設をつくるという提案があり、県の支援もいただけるということで、一気に意識が高まって計画が進んだと言えるでしょう。この事業については地元の方のご理解もあり、是非やってくださいという声を聞きます。

平成緊急内水対策事業に基づく貯留施設は、現在3地区で計画しています。この対策により周辺の内水被害が緩和され、下流の大和川への影響をできるだけ少なくしていくことが期待されます。

## 地域と手を携えて防災・減災を

これらハードの対策が実施されたとしても、やはり災害時には、住民の皆さんの自助・共助が欠かせません。広陵町では、自主防災組織を自治会ごとに組織していただいて、常に訓練が実施されています。最近は一画一的な訓練よりも地域の特性に合わせて、小学校区ごとに訓練するようになりました。

さらに、地域での災害防除に当たっていただく方を増やすため、防災士の養成にも力を入れてきました。全町で200名ぐらいを目標に、研修や資格取得の費用も町で負担しています。

また、町独自に緊急時の警報を発するシステムも構築中です。これは携帯電話を持っていない人、いわゆる通信弱者を対象に、どこの家庭にもあるテレビを使って警報を流すシステムです。緊急時に各戸のテレビに自動的に電源が入って、文字・音声・映像でお知らせする仕組みを構築しようとしています。

これらソフトもハードも、治水事業に終わりはありません。平成緊急内水対策事業は、県の支援を得ながら着実に進めていきます。



### 馬見川流域貯留施設(広陵町三吉)

計画地面積:約2.0ha 計画貯留量:約27,000m<sup>3</sup>(立方メートル)



### 広瀬川流域貯留施設(広陵町大場)

計画地面積:約2.2ha 計画貯留量:約58,000m<sup>3</sup>(立方メートル)



## 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラ

きめ細かい水位情報やリアリティのある河川画像を提供し、早めの避難行動に活用いただくため、「危機管理型水位計」や「簡易型河川監視カメラ」の設置を進めています。

奈良県河川情報システム（ホームページ）で新たに設置した各20箇所を閲覧できます。

### 危機管理型水位計

設置状況

停電時でも確認できるよう  
太陽電池を設置しています



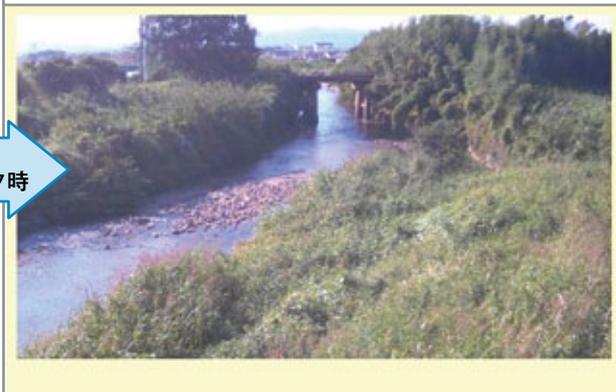
堤防の高さまであと  
○○ [cm]を表示しています



### 簡易型河川監視カメラ



拡大表示



## 気象情報や雨量、水位などの情報をメールでお届け

お住まいの地域で気象警報・注意報が発令された際や、強い雨が降っている箇所や水位が上昇した場合に、メール配信を行っております。

早めの避難行動をとるためにも是非登録をお願いします。

詳しくは、右記のQRコードを読み取るか、下記Webサイトをご覧ください。  
奈良県河川情報システム (<http://www.kasen.pref.nara.jp/gispub/>)



特集

# 川辺のゴミ拾いで地域の交流を復活

大和高田市の大中公園を中心に、高田川の兩岸の南北2.5kmに及ぶ桜並木は、『高田千本桜』と呼ばれる名所。ここで清掃や植栽のボランティアに取り組む「地域交流空間エンジェル」代表の岸本麻美さんら3名にお話を伺いました。



子どもからお年寄りまで、高田川のゴミ拾いから交流が生まれます

## 誰もができるゴミ拾いから河川の美化と地域の交流を実現

活動のメインは、大中公園と高田川の清掃です。毎月2回の活動で、休日の清掃には30〜40名が参加、多い時は100名以上になります。年齢層は2〜71歳と、とても幅広いです。

もともと地域の交流を目的に立ち上げた組織で、子どもからお年寄りまで、誰でもできることは何かなど、考えついたのがゴミ拾いでした。ゴミを見つけたら喋るきつかけができたり、一緒に大きなゴミを引き上げたりすることで、仲間としての意識が芽生えるのでは、と思いました。

効果は予想以上で、全く知らない人同士でも、掃除が終わって帰る頃には仲良くなつて、連絡先を交換したり、色々な繋がりが生まれています。

## なかなか減らないゴミとの闘い いつかはホタルの舞う川をめざして

毎回の清掃で回収するゴミの量は、45ℓのゴ

### インタビュー



地域交流 空間エンジェル

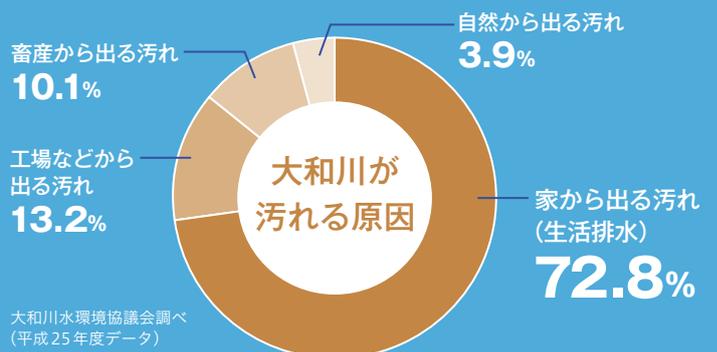
代表 岸本麻美さん (写真:左)  
井本友代さん (写真:中)  
太田啓子さん (写真:右)

# 一人ひとりの取り組みで川の水をきれいに!

## — 2月は大和川水質改善強化月間です —

### なぜ2月なのか?

冬は雨が少なく、水をきれいにする微生物の働きが弱まるため、特に水が汚れやすくなります。この汚れの原因のほとんどが、私たちの出す生活排水です。大和川をきれいにするためには、私たち一人ひとりの取り組みが大切です。





1.みんなで「どやっ」！ 2.桜の下の斜面に、芝桜をハート形に植栽 3.春には一帯がピンク色に染まる高田千本桜 4.いくら拾っても捨てられるゴミ

ミ袋で20袋分にもなります。拾っても拾っても同じ量のゴミが出るので、以前よりきれいになった実感がわきません。

野菜くずから粗大ゴミまで、色々な物が捨てられています。厄介なのは陶器類やガラスの破片で、びつくりする程の量です。水質がきれいになっても、子どもたちが川に入って水遊びができない危険な状態です。

### たった2人が大きなネットワークに信じ続けた「継続は力なり」の言葉

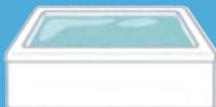
活動は、最初2人で始めました。誰も集まらず、2年弱くらいは2〜3人でした。しかし、毎日SNSで発信し続けるうちに、来てくれる人が増えていきました。近頃では京都や大阪、遠くは福井からの参加者もいます。若い人が多く、SNSの写真の雰囲気の良いに引き寄せられたと言います。大きなきっかけは、「#私でやっ！」というタグをつけた投稿でした。ゴミを拾ってきれいになったことを、「どや」と写真を撮って投稿することで、ゴミ拾いは格好良いと広まればと思っただけでした。

### 台所に直接流さない努力を！

家庭から流す生活排水を、魚がすめる程度の水質(BOD値5mg/ℓ程度)にするにはこんなにたくさんの水が必要です。

#### お風呂で計算すると…

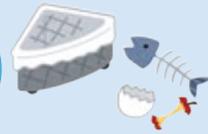
お風呂の水は300ℓとして計算



 しょう油(大さじ1杯) ☞ × 1.5杯	 日本酒(おちょこ1杯) ☞ × 2.5杯
 ラーメンの汁(お椀1杯) ☞ × 3.5杯	 ビール(コップ1杯) ☞ × 8杯
 牛乳(コップ1杯) ☞ × 9杯	 使用済天ぷら油(鍋1杯500ml) ☞ × 330杯

生活排水だけでなく、ゴミも減らして、川にも家計にも優しい取り組みを毎日の習慣に！

### 家庭でできるちょっとした工夫

<h4>流さない</h4>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三角コーナーや排水口には水切りネットをつけて食べ残しなどを直接流さない</li> <li>● お米のとぎ汁は捨てずに植木にまく</li> </ul>	<h4>残さない</h4>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 飲み残しをしない</li> <li>● 食べる分量だけ作り、残さない</li> </ul>
<h4>拭き取る</h4>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 油は固めたり、古紙や古着にしみこませる</li> <li>● 食器洗いにアクリルタワシを使うなど洗剤使用量を減らす</li> </ul>	<h4>ゴミを減らす</h4>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● マイボトルを持参してペットボトルや缶飲料の本数を減らす</li> </ul>

## 「地域の河川サポート事業」参加団体募集!

～河川美化活動を支援します～

地域による河川美化活動を育成し、憩いと潤いのある河川空間を創出するため、地域住民のみなさまが主体的に実施される河川美化活動(河川の清掃・草刈・花の植栽等)を支援します。

プログラムは、3種類あります。活動にあったプログラムでご参加ください。

### 憩いの川づくりプログラム



**内 容** 草刈り  
**要 件** 1回の参加人数10人以上  
 年間1回以上、延長100m以上、刈り取り高10cm以下  
**支援内容** 面積に応じた報償金の支給 (㎡×9円)  
 傷害・賠償責任保険の加入  
 看板の設置

### 彩り花つつみプログラム



**内 容** 花の植栽・維持管理  
**要 件** 1回の参加人数3人以上  
**支援内容** 面積に応じた報償金の支給 (㎡×320円)  
※花苗の植え付け及び維持管理の場合  
 傷害・賠償責任保険の加入  
 看板の設置  
 花苗等の物品の支給

### ボランティア支援プログラム



**内 容** 清掃  
 (軽微な草刈りを含む)  
**要 件** 1回の参加人数5人以上  
 年間1回以上、延長50m以上  
**支援内容** 報償金の支給または、  
 傷害・賠償責任保険の加入

詳しくは以下URLよりご確認ください。

お問い合わせ先 奈良県水資源政策課 TEL.0742-27-8489 URL. <http://www.pref.nara.jp/17237.htm>

## なら県政出前トーク

～河川整備課では「なら県政出前トーク」を実施しています～

なら県政出前トークは、県が重点的に取り組む施策等について、県民等の皆さまからの希望に応じて、職員がお伺いして説明、意見交換を行うものです。

奈良県では、各課で様々なテーマを掲げておりますが、河川整備課では、以下2つのテーマをご用意しております。

### 奈良県の治水対策

- 奈良の河川の歴史、今日の河川が抱える課題等
- 総合治水に関する取組や浸水地域における減災対策について

### 水害に備えて

- 水害時に役立つ水位、雨量及び気象情報の取得方法や備え
- 水難事故発生防止の取組み等について



令和2年度実施の様子

説明内容(水害について)

- I 水害の状況
- II 水害リスクの確認
- III 防災情報と避難行動
- IV 河川情報の収集
- V 避難に際しての注意



申し込み条件や方法については、以下 URL よりご確認ください。

お問い合わせ先 奈良県広報広聴課 TEL.0742-27-8327 URL. <http://www.pref.nara.jp/43272.htm>